

弁理士

---

**本試験データから分析！  
合否を分ける勉強法教えます！  
【納富 美和 LEC専任講師】**

---

**LEC** 東京リーガルマインド



0 001321 240281

MU24028



## ■今年の本試験の総評

- ・ 全体的な難易度はやや易しい
- ・ 下三法がやや難化（条約）
- ・ 準用、不準用からの出題が気になる
- ・ 条文以外からの出題はほぼない

## ■科目ごとの講評

### <特実>

- ・ 普通
- ・ 出題条文の広さは去年よりはない
- ・ 審判絡みの問題 7 問

### <意匠>

- ・ 易しい
- ・ ジュネーブが絡まない
- ・ 特許法と共通するテーマ（条文）からの出題が目立つ←最近の傾向

### <商標>

- ・ ここ数年では易しい問題が多い
- ・ マイナー条文からは少ない

### <条約>

- ・ PCTが難化（テキストにない（出たことのない）規則からの出題）
- ・ パリは普通
- ・ TRIPs は出題条文が例年と異なる

### <著不>

- ・ 不著は、例年通りの難易度
- ・ 割れる問題がなかった
- ・ 不で少し難しい問題あり

2 ◆ 本試験データから分析！ 合否を分ける勉強法教えます！

■分析

	問題数			判例 (肢)	審査基準、 便覧、青本	難易度
	択一	個数	その他			
特実	6 (30%)	13 (65%)	1 (5%)	0	1	普通
意匠	6 (60%)	4 (40%)	—	5▲	3	やや易
商標	7 (70%)	3 (30%)	—	0	—	普通
条約	7 (70%)	3 (30%)	—	—	—	やや難
著作権	5 (100%)	0	—	—	—	普通
不正競争防止法	5 (100%)	0	—	—	—	普通
上四法	19 (47.5%)	20 (50%)	1	—	4	普通
下三法	17 (85%)	3 (15%)	0	—	—	やや難
合計	36 (60%)	23 (38%)	1 (2%)	5	4	普通

▲は、問題 10 自体が判例。

	問題数			判例 (肢)	審査基準、 便覧、青本	難易度
	択一	個数	その他			
特実	7 (35%)	11 (55%)	2 (10%)	2	2	普通
意匠	8 (80%)	2 (20%)	—	2	0	易しい
商標	6 (60%)	4 (40%)	—	1	2	難
条約	7 (70%)	2 (20%)	1 (10%)	—	—	やや易しい
著作権	5 (100%)	0	—	—	—	普通
不正競争防止法	5 (100%)	0	—	—	—	普通
上四法	21 (52.5%)	17 (42.5%)	2 (5%)	—	5 %	普通
下三法	17 (85%)	2 (10%)	1 (5%)	—	—	やや易しい
合計	38 (63%)	19 (32%)	3 (5%)	5	4	やや易しい

<参考：令和 2023 年度>

◆近年の論文試験傾向◆

	一行・基本	事案解決	措置	論述	手続
令和6年	特実問題Ⅰ ▲ 商標Ⅰ	特実問題Ⅰ 意匠Ⅰ	商標Ⅰ 商標Ⅱ	特実問題Ⅱ 意匠Ⅱ	
令和5年	特実問題Ⅱ 意匠 商標	特実問題Ⅰ 意匠 商標	特実問題Ⅰ 意匠 商標	特実問題Ⅱ 意匠	
令和4年	意匠Ⅰ 商標Ⅰ	特実Ⅰ 意匠Ⅱ	特実Ⅰ 商標Ⅱ	特実Ⅱ 意匠Ⅰ 商標Ⅱ	特実Ⅰ
令和3年	商標Ⅰ	特実Ⅰ、Ⅱ 意匠Ⅰ	商標Ⅱ	意匠Ⅱ	特実Ⅰ、Ⅱ
令和2年	商標Ⅰ	特実Ⅰ 意匠Ⅰ	商標Ⅱ	特実Ⅱ 意匠Ⅱ	特実Ⅰ、Ⅱ
令和元年	意匠Ⅱ 商標Ⅰ	特実Ⅰ 意匠Ⅰ	商標Ⅱ	特実Ⅱ	特実Ⅰ、Ⅱ
平成30年	特実Ⅰ、Ⅱ 意匠Ⅰ 商標Ⅰ	特実Ⅰ 意匠Ⅱ	特実Ⅰ 意匠Ⅱ 商標Ⅱ	特実Ⅱ	
平成29年	特実Ⅰ 意匠Ⅰ、Ⅱ 商標Ⅰ	特実Ⅰ 商標Ⅱ	特実Ⅱ 意匠Ⅱ 商標Ⅱ	特実Ⅱ 商標Ⅱ	特実Ⅰ
平成28年	特実Ⅰ 意匠Ⅰ、Ⅱ 商標Ⅰ	特実Ⅰ	特実Ⅰ、Ⅱ 意匠Ⅰ 商標Ⅱ	特実Ⅱ	
平成27年	特実Ⅰ 意匠Ⅰ 商標	特実Ⅰ 意匠Ⅰ 商標	意匠Ⅱ 商標	特実Ⅱ 意匠Ⅱ 商標	特実Ⅰ
平成26年	特実Ⅰ 商標Ⅰ	特実Ⅰ 意匠Ⅰ 商標Ⅱ	特実Ⅰ、Ⅱ 意匠Ⅰ 商標Ⅱ	特実Ⅱ 意匠Ⅰ、Ⅱ	特実Ⅰ
平成25年	特実Ⅰ 意匠 商標	特実Ⅰ 意匠 商標	特実Ⅱ 意匠	特実Ⅰ、Ⅱ	

## ◆合否を分ける勉強法◆

### 1. 論述力より処理能力

- ・ 時間内処理能力を養うことが必要
- ・ しっかりと深く確実に、知識を増やすことが重要
- ・ パターンをしっかりと身に着ける

### 2. 過去問の使い方

- ・ 過去問だけではインプットのツールとしては不足
- ・ 弁理士試験は他試験種と違い、過去問学習がそのまま得点にはつながらない
- ・ 学習したことを確認するため該当の過去問に当たるなど、使い方を工夫する

## ◆論文対策として特に必要なこと◆

「楽は苦の種、苦は楽の種」

論文は準備がものをいう。

### 1. インプット

- ・ 8割は短答の学習をきちんとすること  
(43点を目標、四法に限っては8割取れるようにする)
- ・ 残り2割は趣旨・判例

### 2. アウトプット

#### (1) 答案構成は情報量で決まる

- ・ 「どう書くか」より「何を書くか」
- ・ 事例問題では「何を聞かれているのか」「それを伝えられているか」が重要

#### (2) パターンをしっかりと身に着ける

- ・ いろんな問題を手当たり次第するのではなく、整理してパターンごとにする
- ・ 同じ問題を繰り返し、出来るまでやる

## II 答案構成をシステマティックに行う

- ☆ 事案解決型
  - 拒絶理由を判断（登録を受けられるか）
  - 無効理由（取消理由）を判断（消滅させられるか）

⇒何を使う？ = N式総当り表

- ☆ 措置問題
  - 出願時
  - 中間処理
  - 権利行使する側
  - 権利行使される側

⇒何を使う？ = 措置対策チェックリスト

- ☆ 論述系
  - 登録されるか
  - 侵害を構成するか
  - 法律関係

⇒何を使う？ = N式フローチャート

- ☆ 手続き系
  - 前置審査
  - 審判・訴訟
  - 条約絡み

⇒何を使う？ = 既成フローチャート

れっく **LEC** 東京リーガルマインド

著作権者 株式会社東京リーガルマインド

(C) 2024 TOKYO LEGAL MIND K. K. , Printed in Japan

無断複製・無断転載等を禁じます。

MU24028